

2014年8月20日 全6頁

## Indicators Update

# 7月貿易統計

貿易赤字はわずかに縮小、輸出数量は依然伸び悩み

エコノミック・インテリジェンス・チーム  
エコノミスト 橋本 政彦

### [要約]

- 2014年7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+3.9%と3ヶ月ぶりに前年を上回り、概ね市場コンセンサス（同+3.8%）に沿った結果となった。輸出金額を季節調整値で見ると、前月比+1.5%と2ヶ月連続で増加した。輸出価格の低下を主因に2013年末以降、輸出金額は緩やかに減少してきたが、輸出価格が足下で上昇に転じており、輸出金額は持ち直しの動きが見られている。
- 7月の輸入金額は、前年比+2.3%と2ヶ月連続で前年を上回った。輸入数量が前年比▲0.4%と2ヶ月ぶりの前年割れとなる一方で、輸入価格が同+2.7%と上昇幅を拡大したことが輸入金額を押し上げた。
- 貿易収支は▲9,640億円の赤字となったものの、輸出の伸びが輸入の伸びを上回ったことで赤字幅は2ヶ月ぶりに前年に比べて縮小した。また、季節調整値で見た貿易収支も▲1兆238億円となり、わずかながら赤字幅が前月から縮小する結果となった。
- 輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比▲0.1%と2ヶ月ぶりの低下となった。輸出数量については依然横ばい圏での推移が続いている。

### 貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2013年		2014年						
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出金額	18.4	15.3	9.5	9.8	1.8	5.1	▲2.7	▲1.9	3.9
コンセンサス									3.8
DIR予想									4.9
輸入金額	21.2	24.8	25.1	9.0	18.2	3.4	▲3.5	8.4	2.3
輸出数量	6.2	2.5	▲0.2	5.4	▲2.5	2.0	▲3.4	▲1.7	0.9
価格	11.5	12.4	9.7	7.0	4.4	3.0	0.7	▲0.3	3.0
輸入数量	3.4	4.7	8.0	▲0.5	11.6	▲1.3	▲4.0	7.2	▲0.4
価格	17.2	19.1	15.9	6.9	5.9	4.8	0.5	1.1	2.7
貿易収支	▲13,011	▲13,072	▲27,950	▲8,047	▲14,507	▲8,149	▲9,108	▲8,232	▲9,640

（注1）貿易収支は億円。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

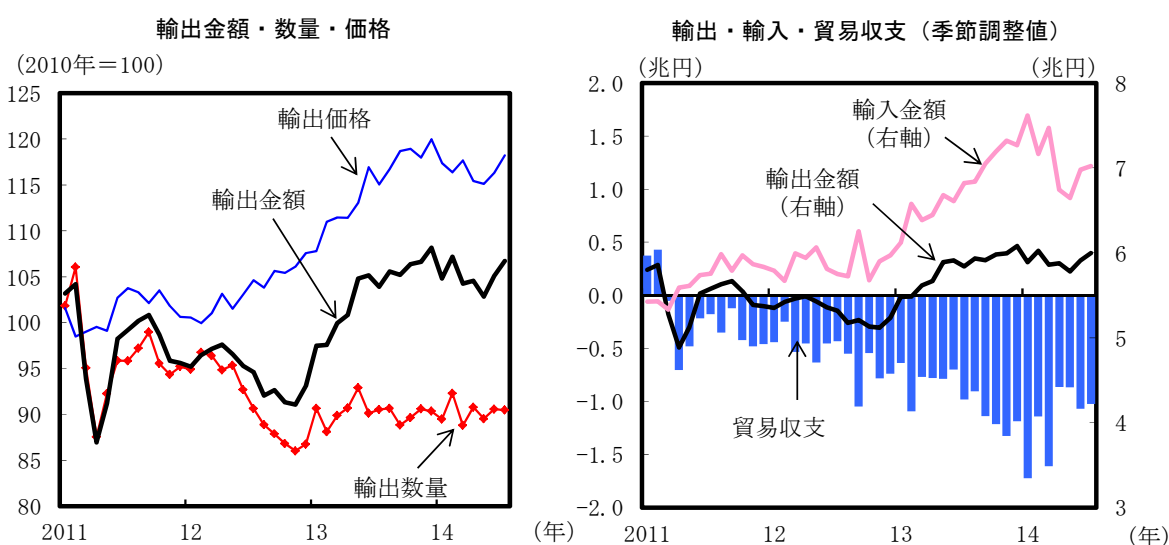
## 輸出金額は3ヶ月ぶりの前年比増加、貿易収支赤字はわずかに縮小

2014年7月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+3.9%と3ヶ月ぶりに前年を上回り、概ね市場コンセンサス（同+3.8%）に沿った結果となった。輸出数量が同+0.9%と3ヶ月ぶりに前年を上回ったことに加えて、輸出価格も同+3.0%と2ヶ月ぶりの上昇となった。輸出金額を季節調整値で見ると、前月比+1.5%と2ヶ月連続で増加した。輸出価格の低下を主因に2013年末以降、輸出金額は緩やかに減少してきたが、輸出価格が足下で上昇に転じており、輸出金額は持ち直しの動きが見られている。

7月の輸入金額は、前年比+2.3%と2ヶ月連続で前年を上回った。輸入数量が前年比▲0.4%と2ヶ月ぶりの前年割れとなる一方で、輸入価格が同+2.7%と上昇幅を拡大したことが輸入金額を押し上げた。輸入金額を季節調整値で見ても、前月比+0.6%と増加した。消費税増税後の反動減の影響は順次緩和しつつあり、個人消費を中心とした内需の持ち直しに沿う形で、前月比ベースで見た輸入数量は持ち直しつつある。

貿易収支は▲9,640億円の赤字となったものの、輸出の伸びが輸入の伸びを上回ったことで赤字幅は2ヶ月ぶりに前年に比べて縮小した。また、季節調整値で見た貿易収支も▲1兆238億円となり、わずかながら赤字幅が前月から縮小する結果となった。

### 輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

## 輸出数量は前月比▲0.1%、横ばい圏での推移が続く

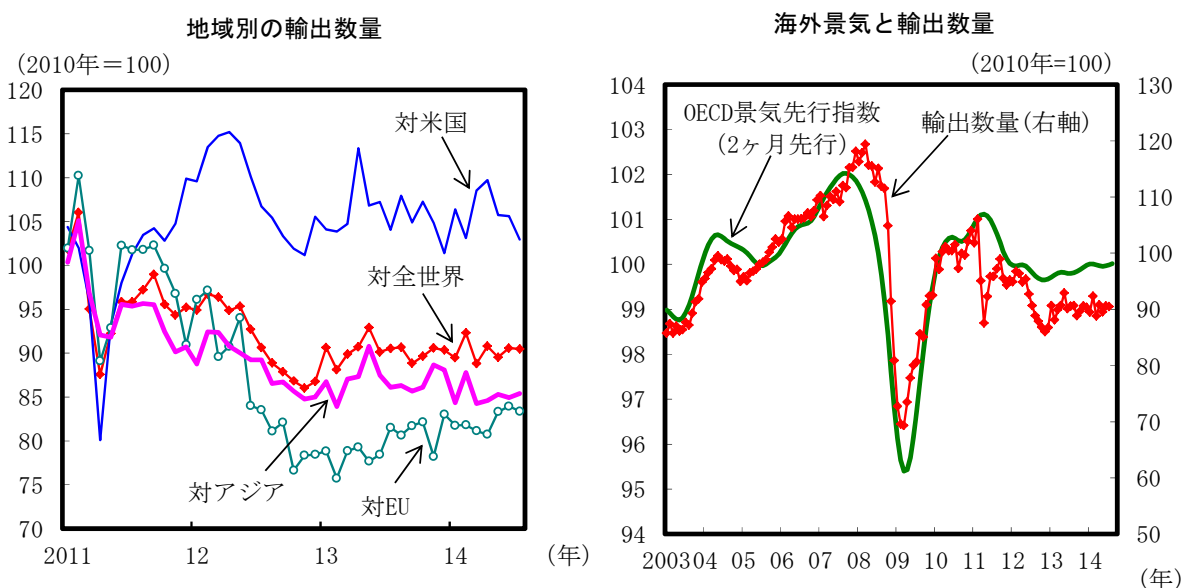
輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比▲0.1%と2ヶ月ぶりの低下となった。輸出数量については依然横ばい圏での推移が続いている。地域別の動向を見ると、アジア向け（同+0.6%）では輸出数量の増加が見られたものの、米国向け（同▲2.5%）、EU向け（同▲0.7%）の減少が全体の足を引っ張った。

アジア向けでは、電子部品輸出が ASEAN、NIEs 向けを中心に増加したことが全体を押し上げた。一方、米国向けでは、自動車の減少が輸出数量の主な押し下げ要因となった。EU 向けについては、自動車が増加に転じたものの、電気機器および一般機械の輸出が低調だった模様。

## 海外の需要回復に合わせて輸出数量は増加基調へ

輸出数量の先行きに関しては、徐々に増加基調へ向かう見込みである。輸出相手先別に景気動向を見ると、米国では、堅調な個人消費が牽引役となり景気拡大が続いている。米国向け輸出の主力製品である自動車の輸出については、国内メーカーが現地生産化を進めていることにより伸び悩んでいるものの、企業部門の回復に伴って、資本財を中心とした輸出の増加が期待される。欧州経済は足下でやや減速がみられるものの、今後も緩やかな景気拡大が続くと見込まれる。EU 向けの輸出はこれまでも緩やかな増加が続いてきたが、先行きについても増加基調が続く見込みである。欧米経済の回復に牽引され、アジア新興国経済も改善ペースを強めていくだろう。また、このところ停滞が続いていた中国についても、経済対策の効果などから持ち直しの動きが見られている。このところ伸び悩んでいるアジア向け輸出に関しても、徐々に持ち直しに向かうとみている。

### 地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量



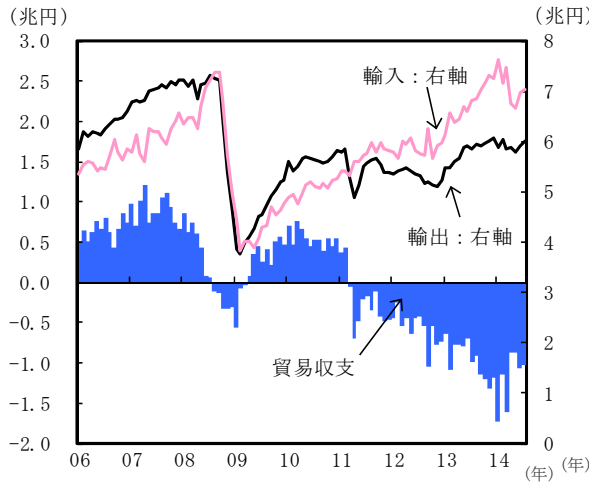
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

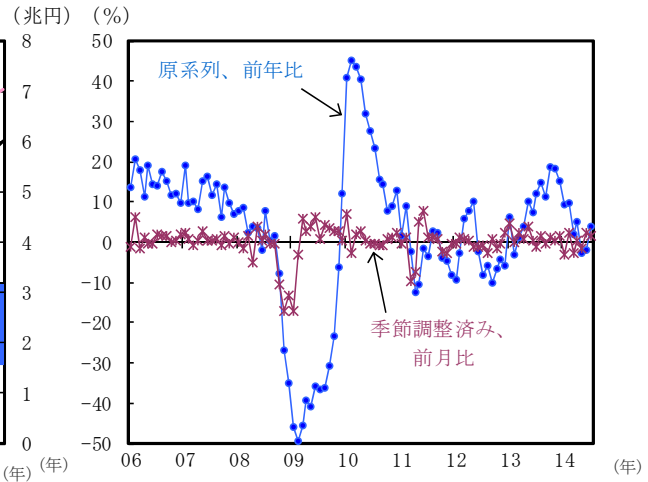
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

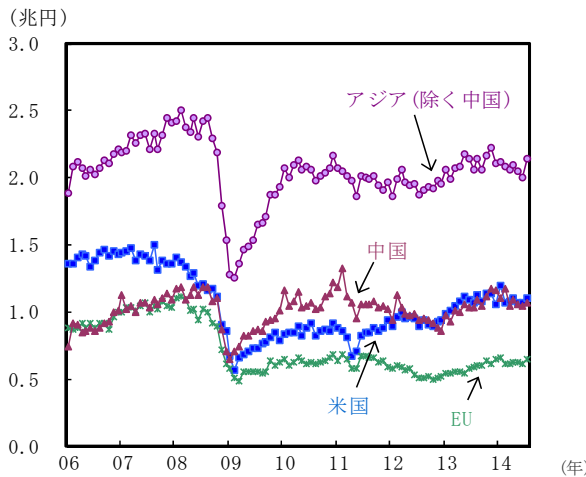


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

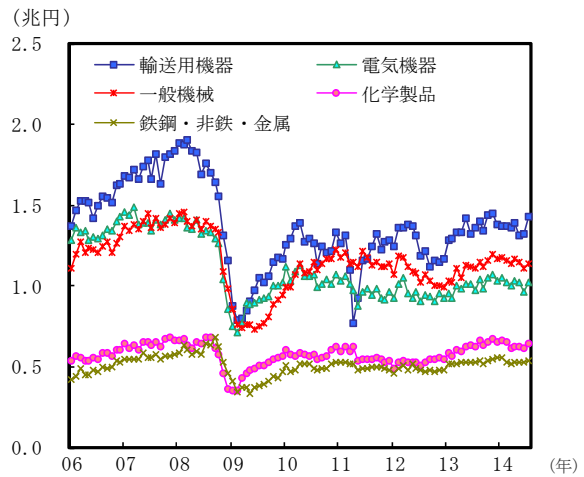


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

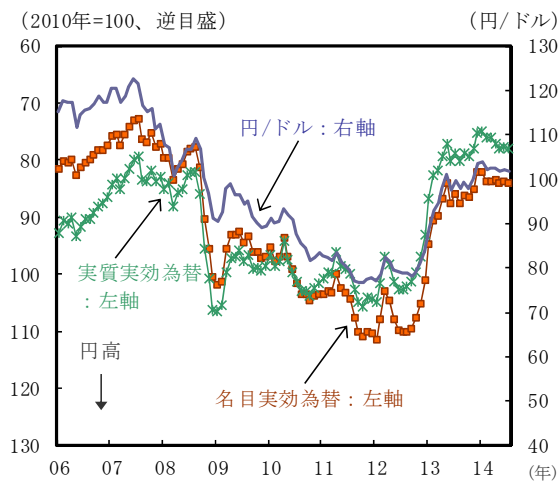


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

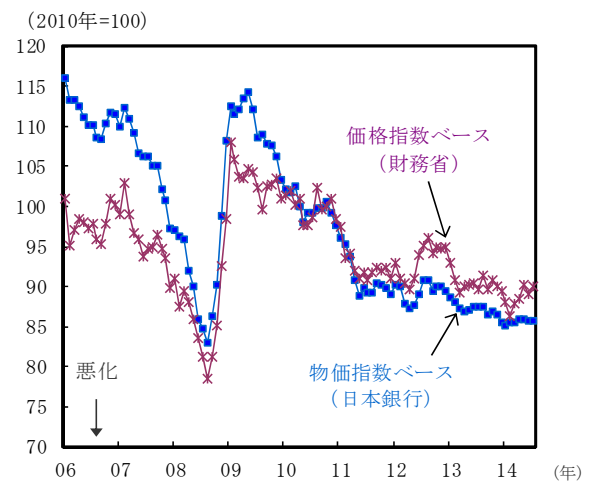


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06	2014/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.8	1.8	5.1	▲2.7	▲1.9	3.9	100.0	3.9
食料品	20.6	8.5	12.2	1.5	7.3	10.0	0.6	0.1
原料品	▲8.1	▲17.0	▲10.2	▲6.4	4.0	16.9	1.8	0.3
鉱物性燃料	75.9	31.2	13.1	▲45.9	▲18.3	▲7.0	2.1	▲0.2
化学製品	16.3	1.5	3.8	▲0.1	▲4.4	2.6	10.4	0.3
原料別製品	3.4	▲2.4	0.0	▲0.7	▲0.2	1.5	12.8	0.2
鉄鋼	4.2	5.4	▲4.0	▲1.4	▲0.3	▲4.2	5.0	▲0.2
非鉄金属	▲9.4	▲13.8	1.9	1.4	2.5	12.3	2.0	0.2
金属製品	11.7	▲1.9	12.8	0.9	2.6	8.5	1.7	0.1
一般機械	14.1	2.3	10.8	2.5	▲0.4	2.2	19.0	0.4
電気機器	10.7	0.4	5.3	0.6	▲5.1	3.8	17.1	0.7
半導体等電子部品	8.7	▲3.8	1.3	▲5.2	▲8.7	▲0.7	5.1	▲0.0
I C	8.0	▲6.1	▲2.1	▲9.0	▲11.0	▲4.4	3.4	▲0.2
映像記録・再生機器	7.7	▲9.2	▲3.7	▲15.1	▲29.7	▲24.8	0.6	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲8.6	▲3.2	▲18.3	▲9.9	▲21.3	▲11.2	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	9.5	▲4.0	7.5	3.9	▲0.2	5.8	2.6	0.1
輸送用機器	6.6	2.4	4.7	▲7.3	▲0.6	4.5	24.2	1.1
自動車	4.0	9.0	5.1	▲4.3	0.9	8.1	16.1	1.2
自動車の部分品	4.7	▲5.6	1.3	▲7.3	▲3.2	3.4	5.0	0.2
その他	4.1	5.4	3.9	▲0.7	▲0.7	9.5	11.9	1.1
科学光学機器	17.5	3.6	15.0	1.8	3.6	9.8	3.3	0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06	2014/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.6	3.6	1.9	▲2.8	▲2.2	2.1	100.0	2.1
食料品	14.1	18.5	28.4	22.0	9.1	9.2	0.6	0.1
原料品	28.3	▲12.4	1.5	4.9	▲0.4	63.9	1.1	0.4
鉱物性燃料	336.5	682.0	▲29.7	▲96.3	▲28.9	▲65.9	0.4	▲0.8
化学製品	4.1	13.2	▲6.0	5.6	▲5.8	3.0	5.1	0.2
原料別製品	8.9	1.4	▲1.8	8.6	8.8	7.1	7.4	0.5
鉄鋼	14.2	11.5	▲18.8	29.9	18.0	▲3.4	2.0	▲0.1
非鉄金属	15.6	10.5	22.7	17.9	14.3	21.8	0.6	0.1
金属製品	2.2	▲13.6	2.8	▲5.1	12.6	2.1	1.7	0.0
一般機械	6.8	0.2	6.0	5.1	▲1.8	10.1	23.1	2.2
電気機器	4.8	▲1.1	1.8	0.4	▲4.2	2.0	13.9	0.3
半導体等電子部品	0.7	▲3.9	3.3	▲1.3	1.1	3.7	2.0	0.1
I C	▲0.2	▲7.0	▲4.6	▲7.7	▲2.7	0.3	1.2	0.0
映像記録・再生機器	▲1.8	▲12.5	▲10.6	▲23.7	▲45.6	▲34.6	0.7	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲23.7	▲16.2	11.8	▲5.8	▲12.5	▲14.4	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	12.7	▲7.1	▲3.6	1.8	▲6.3	▲0.7	1.5	▲0.0
輸送用機器	1.6	6.3	3.1	▲11.1	▲3.5	▲2.8	39.3	▲1.2
自動車	▲1.7	7.3	▲0.9	▲18.4	▲6.8	▲10.3	28.0	▲3.3
自動車の部分品	0.9	▲7.8	5.6	▲0.2	▲1.1	14.4	6.8	0.9
その他	14.4	4.4	▲2.1	8.6	1.9	4.5	9.0	0.4
科学光学機器	7.5	3.0	▲2.3	▲3.9	▲1.4	2.4	2.1	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06	2014/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.9	10.2	12.8	13.4	6.5	10.2	100.0	10.2
食料品	28.7	27.7	26.4	8.4	3.5	5.4	0.3	0.0
原料品	▲1.0	▲8.2	▲25.6	▲28.1	▲10.3	▲17.1	0.9	▲0.2
鉱物性燃料	337.2	▲78.9	72.0	42.1	▲71.8	▲57.4	0.3	▲0.5
化学製品	11.5	8.1	10.2	9.2	▲1.3	6.6	8.7	0.6
原料別製品	8.9	2.7	12.3	16.3	5.5	▲1.5	7.3	▲0.1
鉄鋼	45.1	27.9	▲6.3	41.4	8.6	▲38.1	0.9	▲0.6
非鉄金属	9.4	▲29.8	14.8	22.3	▲26.1	27.2	0.7	0.2
金属製品	3.6	▲1.9	14.3	8.3	11.1	1.7	1.6	0.0
一般機械	15.1	10.0	12.0	7.5	13.4	3.7	25.8	1.0
電気機器	10.6	7.1	15.0	13.9	1.7	5.2	18.7	1.0
半導体等電子部品	13.7	20.4	33.6	31.4	9.3	30.9	3.0	0.8
I C	17.8	14.2	40.8	43.4	16.8	35.3	1.9	0.5
映像記録・再生機器	9.2	▲22.2	21.5	▲4.7	▲46.7	▲45.2	0.9	▲0.8
音響・映像機器の部分品	▲10.7	▲33.7	▲63.5	▲28.9	▲49.8	▲5.9	0.6	▲0.0
電気回路等の機器	26.0	7.6	25.8	24.4	4.6	3.2	1.8	0.1
輸送用機器	30.7	25.3	14.7	25.1	21.3	30.3	23.1	5.9
自動車	47.6	83.4	48.9	51.2	59.7	74.3	16.5	7.8
自動車の部分品	▲4.0	▲11.3	▲15.1	▲18.1	▲17.3	▲27.3	4.6	▲1.9
その他	0.2	11.2	14.2	13.3	▲7.3	17.8	14.9	2.5
科学光学機器	7.6	▲1.7	15.8	3.3	▲7.0	9.2	3.1	0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06	2014/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.5	1.4	3.6	▲3.4	▲3.8	3.4	100.0	3.4
食料品	23.3	5.2	8.9	▲2.9	7.6	9.3	0.8	0.1
原料品	▲11.0	▲18.8	▲10.5	▲5.3	4.8	15.0	2.6	0.4
鉱物性燃料	73.7	48.3	10.0	▲36.5	▲19.9	▲2.6	2.6	▲0.1
化学製品	17.2	▲1.1	4.2	▲2.0	▲4.9	1.2	14.6	0.2
原料別製品	2.4	▲5.0	▲1.4	▲3.3	▲3.2	0.1	15.9	0.0
鉄鋼	1.6	2.7	▲4.1	▲5.8	▲3.9	▲5.2	6.8	▲0.4
非鉄金属	▲10.0	▲22.0	▲3.7	▲4.2	▲0.8	6.8	3.1	0.2
金属製品	16.4	2.7	11.1	4.5	▲2.1	8.2	1.9	0.1
一般機械	18.8	5.2	12.1	1.6	▲4.1	▲2.2	17.8	▲0.4
電気機器	12.3	0.3	4.9	▲1.0	▲5.5	3.9	21.3	0.8
半導体等電子部品	9.7	▲5.2	0.0	▲7.1	▲9.4	▲2.2	8.0	▲0.2
I C	8.4	▲7.1	▲3.8	▲11.5	▲12.8	▲6.7	5.5	▲0.4
映像記録・再生機器	15.2	▲2.1	▲8.8	▲14.3	▲10.6	▲11.3	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	9.5	21.3	▲5.1	▲0.1	▲14.8	1.3	0.6	0.0
電気回路等の機器	6.7	▲6.3	7.0	2.8	0.0	5.5	3.6	0.2
輸送用機器	17.6	0.5	▲4.6	▲8.3	2.7	15.8	9.8	1.4
自動車	27.7	14.6	11.0	8.6	21.1	17.8	4.9	0.8
自動車の部分品	▲1.4	▲9.9	▲5.3	▲9.6	▲7.2	3.1	3.9	0.1
その他	5.1	6.3	3.6	▲3.5	▲3.9	7.9	14.4	1.1
科学光学機器	24.5	6.4	17.2	1.4	6.5	12.3	4.4	0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05	2014/06	2014/07		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	27.6	4.3	9.7	0.3	1.5	2.6	100.0	2.6
食料品	16.4	8.1	35.5	0.1	21.8	41.8	0.3	0.1
原料品	▲9.9	▲22.1	▲13.9	▲8.3	▲2.9	9.0	3.7	0.3
鉱物性燃料	▲40.3	▲3.7	33.8	▲54.6	17.1	▲40.4	0.7	▲0.5
化学製品	24.8	2.6	4.9	▲4.8	▲3.6	▲3.4	14.8	▲0.5
原料別製品	19.9	▲2.1	3.5	1.8	3.8	2.4	13.5	0.3
鉄鋼	32.1	27.2	0.4	▲0.3	8.1	0.0	4.4	0.0
非鉄金属	▲9.0	▲27.6	8.1	7.1	15.4	8.0	2.8	0.2
金属製品	47.1	3.5	14.7	12.2	3.2	17.9	1.9	0.3
一般機械	39.0	6.2	18.8	1.4	▲4.4	▲3.7	18.8	▲0.7
電気機器	20.3	2.8	11.5	5.5	1.1	3.2	22.4	0.7
半導体等電子部品	4.5	▲12.8	▲7.4	▲10.0	▲12.0	▲9.3	7.3	▲0.8
I C	▲2.6	▲19.1	▲14.8	▲15.2	▲13.6	▲14.6	4.9	▲0.9
映像記録・再生機器	25.6	1.9	▲23.3	▲4.1	▲19.4	▲9.3	0.9	▲0.1
音響・映像機器の部分品	10.5	53.0	9.0	34.7	29.0	18.0	1.0	0.2
電気回路等の機器	19.1	▲2.5	24.9	9.7	13.9	10.0	4.0	0.4
輸送用機器	60.3	24.4	13.1	11.8	16.1	15.9	11.8	1.7
自動車	138.2	61.2	26.0	19.1	22.5	12.9	5.3	0.6
自動車の部分品	18.0	1.3	3.1	5.5	12.1	17.3	6.2	0.9
その他	35.5	8.5	9.5	▲2.1	3.3	9.8	14.0	1.3
科学光学機器	40.2	10.3	20.3	4.0	2.1	11.8	6.7	0.7

(出所) 財務省統計より大和総研作成